

経営一転語 23 実質金利はいくらか

実質金利について説明したいと思います。実質金利について検討している会社は、そう多くはないのではないかと思います。

実質金利の計算方法は
実質金利 = (支払利子 + 割引料 - 受取利子) / (借入金 + 割引手形 - 固定預金)
です。

例を挙げて計算してみましょう。

借入金 4,000 千円、借入利率 3%、固定預金（定期預金など）1,000 千円、預金金利 0.2% の場合は、

分子の支払利子は $4,000 \text{ 千円} \times 0.03 = 120 \text{ 千円}$ 、受取利子は $1,000 \text{ 千円} \times 0.002 = 2 \text{ 千円}$ です。

これを計算式に代入します。

$(120 \text{ 千円} - 2 \text{ 千円}) / (4000 \text{ 千円} - 1000 \text{ 千円}) = 0.039$ で実質金利は 3.9% となります。要するに上記の条件で、金融機関から 4,000 千円借りて、固定預金を 1000 千円したら、金融機関に 3.9% の利子を払っているのと同じということです。

上記の例で、預貸率（預金と貸金の率）が変われば（もっと預金の金額が大きくなれば）、どうなるでしょうか？

借入金 4,000 千円、借入利率 3%、預金 2,000 千円、預金金利 0.2% の場合は、
 $(120 - 6) / (4,000 - 2,000) = 0.057$ で、実質金利は 5.7% にもなってしまいます。

金融機関が「お金は貸すけれども、うちの預金口座に預金してくれ」という理由がおわかりかと思います。ぜひ、金融機関ごとに実質金利を計算してみてください。驚かれることもあるかと思います。こんなに銀行を儲けさせてあげていたのかと。

実質金利が借入金の利率より 1% 以上高くなっていたら、その差を 1% まで引き下げる手を打つべきだと思います。その手とは、計算式から明らかですが、

1. 借入金の利率を交渉して下げてもらう。
2. 借入金を増大する。（これはお勧めしません）
3. 固定預金の増大を抑える。

という手が考えられます。ぜひ、検討してみてください。